

## 有珠山の火山活動解説資料（平成 21 年 3 月）

札幌管区気象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。  
平成 20 年 6 月 9 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・ 噴煙及び熱活動（図 2～6）

有珠山山頂火口原及び西山西麓火口群 N-B 火口の噴煙の高さは火口縁上概ね 100m 以下で推移し、噴煙活動は静穏な状況が続いています。

9 日に現地調査を実施しました。N-B 火口では顕著な温度低下が認められ、噴気の勢いも弱まっていた。また赤外熱映像装置<sup>1)</sup> による観測でも N-B 火口北西側地熱域の熱活動に低下傾向が認められました。

#### ・ 地震活動（図 2～3、図 7、表 1）

火山性地震は一日あたり 5 回以下で、地震活動は低調に経過しました。震源は概ね山頂部直下の浅い所に分布しており、これまでと比べて変化はありませんでした。

火山性微動は観測されませんでした。

#### ・ 地殻変動（図 8～9）

GPS 連続観測では、火山活動の高まりを示すような変動は認められませんでした。

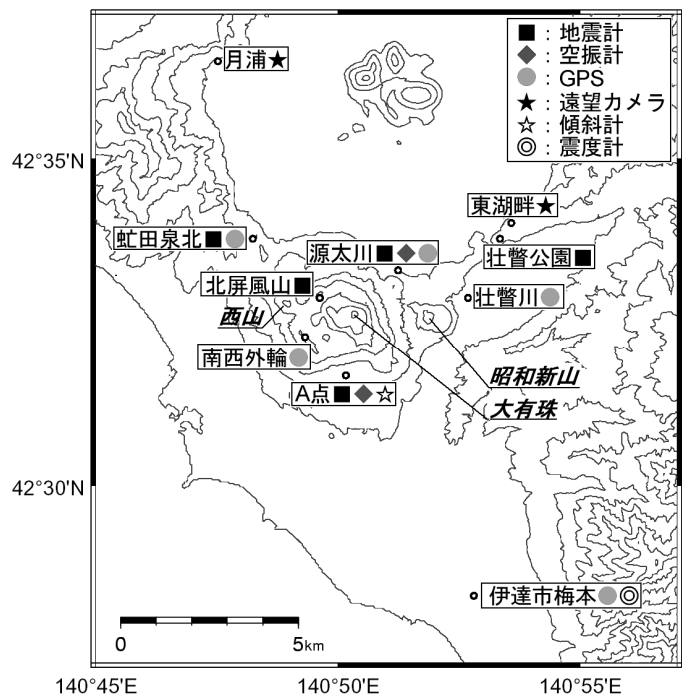


図 1 有珠山 火山観測点配置図

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.sapporo-jma.go.jp>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 4 月分）は平成 21 年 5 月 11 日に発表する予定です。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（地図画像）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

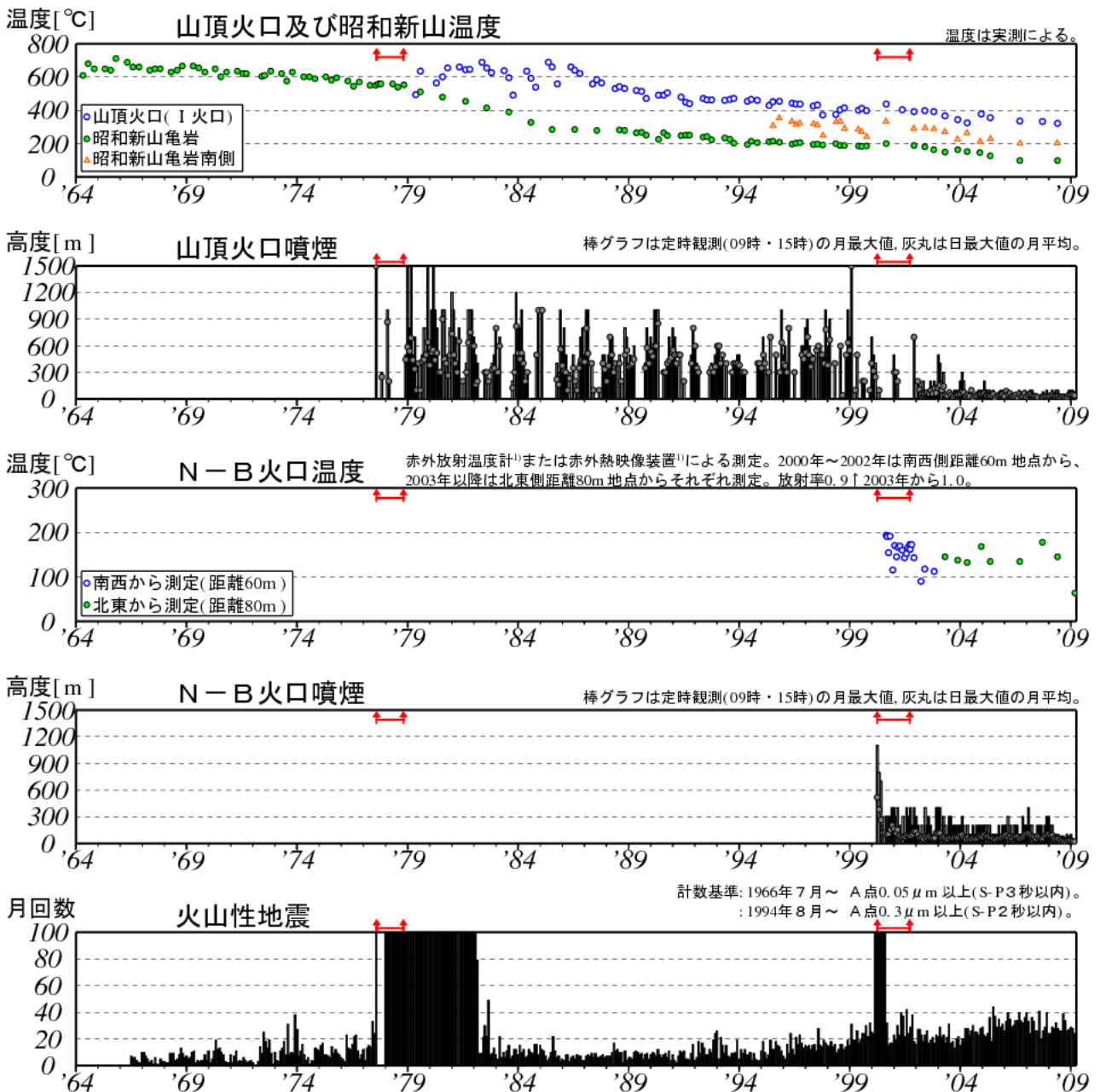


図 2 有珠山 長期の火山活動経過図（1964 年 1 月～2009 年 3 月）

↑印で挟まれた期間は噴火活動期

- ・ 山頂火口 (I 火口)、昭和新山では火口温度の低下傾向が継続しています。
- ・ 地震活動は活動休止期と噴火活動期で明瞭な違いが見られます。
- ・ 2000 年噴火活動終息後は火山性地震の月回数が 30 回前後で推移しています。

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

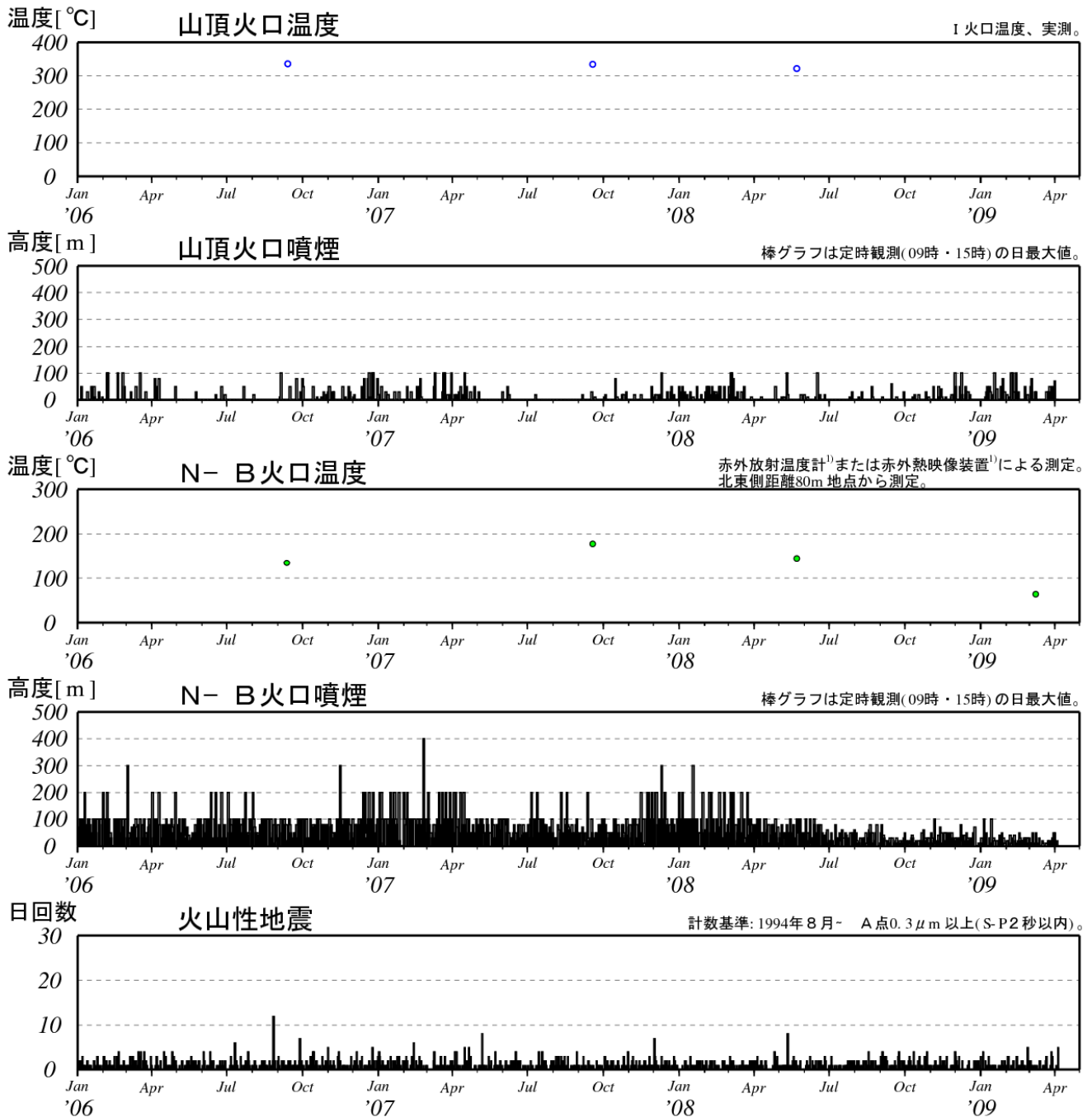


図3 有珠山 最近の火山活動経過図（2006年1月～2009年3月）

- ・ 2000年9月以降、地震回数は一日あたり概ね5回以下で推移しています。
- ・ N-B火口温度は2009年に入って顕著な低下が見られます。
- ・ N-B火口の噴煙活動は2008年6月以降弱まっています。

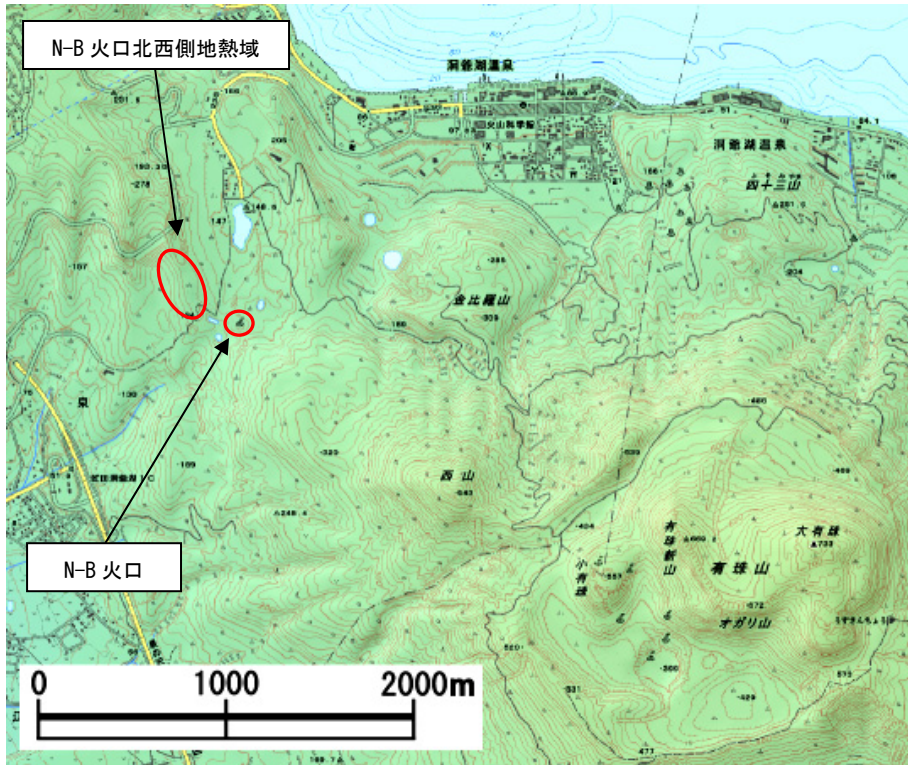


図 4 有珠山 火口周辺図

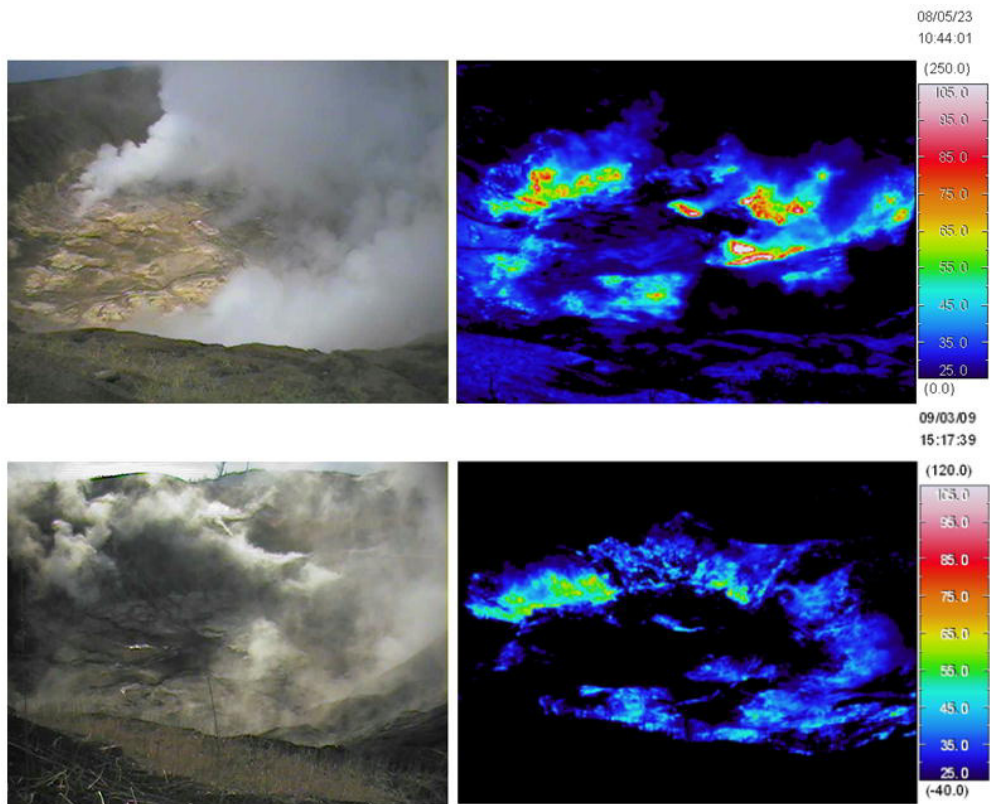


図 5 有珠山 赤外熱映像装置<sup>1)</sup>による N-B 火口内部の地表面温度分布  
 (上段：2008 年 5 月 23 日 下段：2009 年 3 月 9 日 北東側より撮影)

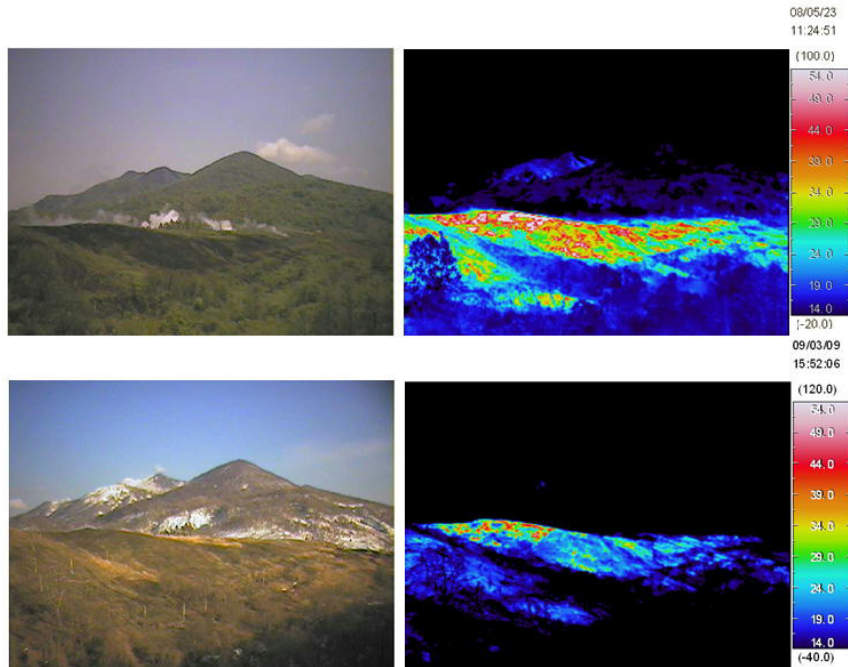


図6 有珠山 赤外熱映像装置<sup>1)</sup>によるN-B火口北西側地熱域の地表面温度分布  
 (上段：2008年5月23日 下段：2009年3月9日 西側より撮影)  
 ・N-B火口では噴気の勢いは弱く、噴気温度も顕著な低下傾向が認められます。  
 ・N-B火口北西側地熱域では地熱域の縮小が認められます。

表1 有珠山 地震・微動の月回数（図1のA点）

2008～2009年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地震回数	28	32	28	26	26	39	34	26	27	29	28	25
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・ 2009年3月の回数は暫定値であり、後日修正することがあります。

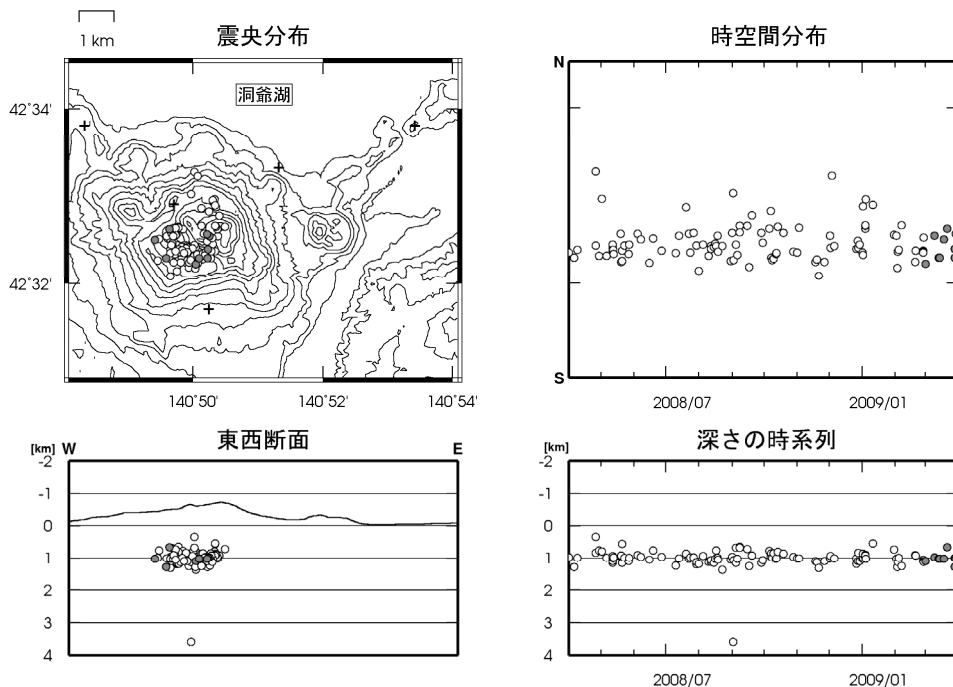


図7 有珠山 震源分布図（2008年4月～2009年3月、+は地震観測点）

- 印は今期間（2009年3月）の震源
- 印は前期間までの11ヶ月間（2008年4月～2009年2月）の震源
- ・前期間までの震源は山頂部直下の浅い所（山頂から深さ1.5km付近）に集中しています。今期間の震源も概ねこの領域内に分布しています。

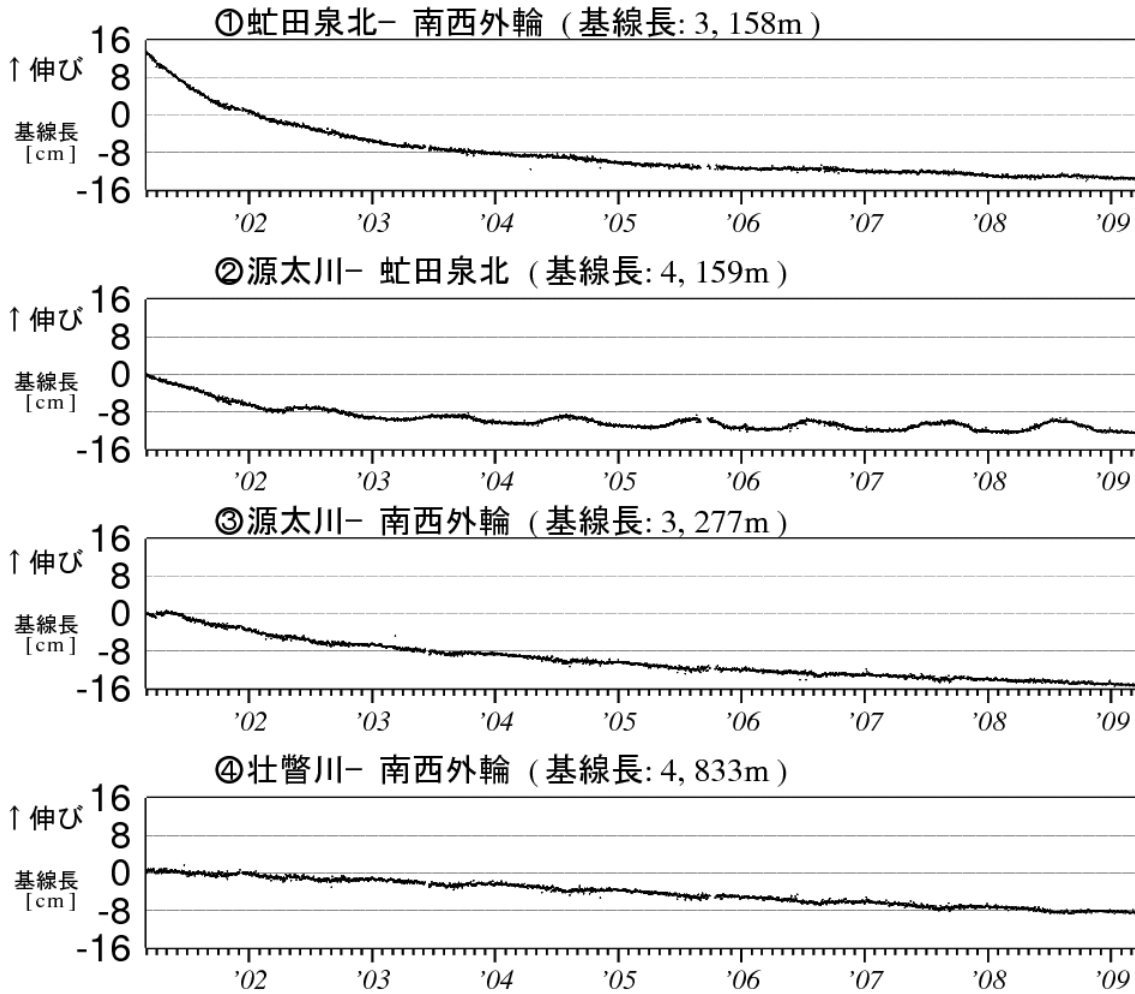


図 8 有珠山 GPS 連続観測による基線長変化（2001 年 3 月～2009 年 3 月）  
 グラフの空白部分は欠測

図 8 の①～④は、図 9 の GPS 基線①～④に対応しています。

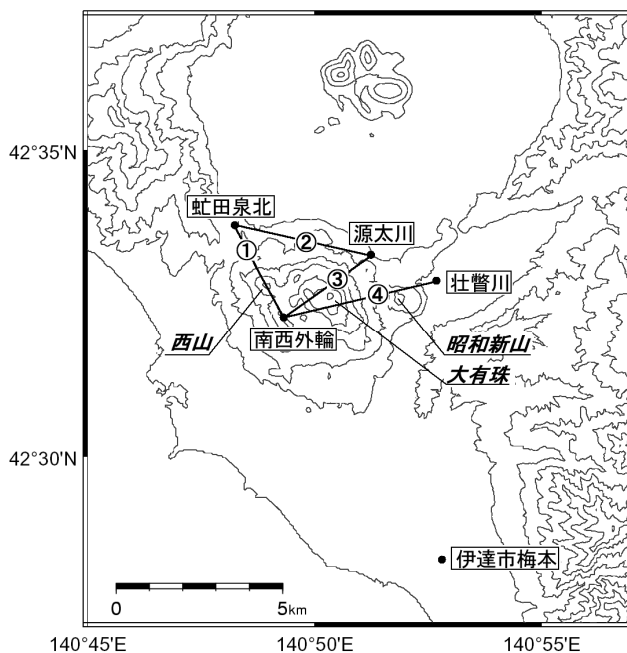


図 9 有珠山 GPS 連続観測点配置図